

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34
(Tel) 075-574-4118

京都橘女子大学図書館 田北十生気付
(Fax) 075-574-4124



研究集会のご案内！

大図研京都支部の研究集会を下記のように開催します。会員の皆さんの積極的な参加をお願いします。(2ページ詳細参照)

日 時	1999年7月3日(土) 午前10時～午後4時
会 場	立命館大学国際平和ミュージアム 209号室
テーマ	「21世紀の図書館員を考える」(仮称)
講 演	馬場俊明氏 甲南大学教授
報 告	井上雅人氏 立命館大学情報センター(図書館職員)
資料費	一人 500円

支部総会のご案内！

下記の要領で1999年度大図研京都支部総会を開催します。総会は意見交換の場、会員の交流の場でもあります。日頃職場も別々で対面交流が出来にくいので、総会を機会に会員相互の交流親睦を深めましょう！

なお、今回総会は親睦会と合わせて、ビアガーデンを会場とする予定です。お楽しみに！
今から予定を入れておいて下さい。

総会日程 1999年7月24日(土)(日の変更をしました！)

【5月号では7月17日(土)とお知らせしましたが当日は祇園祭の日に当たりますので変更しました。あしからず。】

大図研京都支部のメーリングリスト

「yurikamome」に入会しよう！

メーリングリスト加入は、京都支部の
下記ホームページから出来ます。

<http://kuee2.kuee.kyoto-u.ac.jp/library/yurikams.html>

Top ページの URL は下記の通りです。

<http://kuee2.kuee.kyoto-u.ac.jp/library/yurikamo.html>

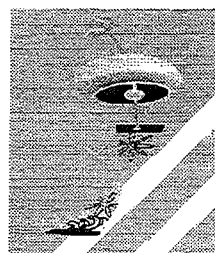
目 次	研究集会のご案内！……………1頁
	研究集会の案内……………2頁
	第22回総会議案書……………3頁
	第10回支部委員会の報告……………6頁
	連載小説(18回)リュウ……………7頁
	数珠つなぎ(39回)……………8頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付(kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp) 田北まで

***** 第8回大学図書館員京都研究集会 *****
「大学図書館職員論」

大図研京都支部では、2年前に「職員問題」研究集会を開催し、職員問題の多様な局面を浮き彫りにしました。それから現在に到るまでこの2年間、各方面で活発な議論がなされてきていますが、ひとつの傾向として図書館経営的な視点からの発言が増えてきています。今回の集会では、最近の新しい議論もふまえながら、より掘り下げた討議を実現できるように準備をすすめています。

日 時：1999年7月3日(土) 10:00～16:30 (9:30 受付)
会 場：立命館大学国際平和ミュージアム 209号室
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899



交通案内：京都駅 (JR・近鉄) より

- 市バス (快速 205) ・ 50 にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。
 - 阪急電車西院駅より (急行停車)
 - 市バス (205) にて「わら天神前」下車、徒歩 10 分。
 - 市バス (快速 205) ・ (快速 202) にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。
 - 阪急電車大宮駅より (特急停車)
 - 市バス (55) にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。
 - 京阪電車三条駅より
 - 市バス (15) ・ (51) ・ (59) にて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分。
 - 地下鉄北大路駅より
 - 市バス (204) ・ (205) にて「わら天神前」下車、徒歩 10 分。
- * 会場への地図は次の URL を参照して下さい。
<http://www.ritsumeai.ac.jp/kic/a06/1/riyou.html>

参加費：500 円

主催：大学図書館問題研究会京都支部

プログラム：

- 10:00～10:10 基調報告
- 10:10～11:00 第1報告：竹村心氏 (京都大学教育学部図書室)
「国立大学図書館の専門職制度について」
- 11:00～12:00 第2報告：井上雅人氏 (立命館大学)
「立命館大学の事例報告」
- 12:00～13:30 休憩
- 13:30～14:30 講演：馬場俊明氏 (甲南大学教授)
「大学図書館員論 (仮題)」
- 14:30～15:00 質疑応答
コーディネーター：篠原俊夫氏
(京都大学総合人間学部図書館)
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:30 質疑応答

申込方法：はがき、電話、FAXまたはメール

申込み先：京都学園大学図書館 大館和郎 宛
〒京都府亀岡市曾我部町南条大谷 1-1
TEL：0771-29-2292 FAX：0771-29-2299
E-mail：odate@kyotogakuen-u.ac.jp

大学図書館問題研究会 第22回京都支部総会議案

【第1号議案】1998年度活動総括及び1999年度活動方針

はじめに

現在、大学図書館においては学外者や地域住民の開放、障害者サービスや留学生サービスなど利用対象別のきめ細かな対応が求められるようになってきています。またコンピュータ技術とネットワーク技術の発展により、全国レベルでの図書館間の相互協力業務が拡大しています。情報媒体の多様化に伴い、図書館で取り扱う資料の種類も拡大しています。これらの状況は、図書館サービスの拡大化ということができます。

実際の大学図書館の現場では、図書館予算や図書館職員の量的な減少などにもかかわらず、多様に拡大するサービス要求に対応しなければならないという現実直面しています。このような条件の中で、個々の図書館職員の能力のレベルアップをはかるために、情報の交換や研修の機会が継続的に提供されることが必要であり、そのことが結果として利用者サービスの向上につながるのではないのでしょうか。

大学図書館問題研究会京都支部では、このような状況を踏まえ、図書館員のより高度な力量形成に向けて活動を展開して来ました。

1. 1998年度活動総括

(1) 例会の開設と会員間交流の発展

1998年度の特筆すべき動きとして、例会活動の開始があげられます。これは、昨年度より支部活動のあり方を支部委員会で話し合った結果、会員間の交流の場をできるだけつくろうという方針のもとに実現したものです。9月の立命館大学国際平和ミュージアムほかの見学会、11月の京都精華大学情報館見学会、3月の堀田牧太郎氏による講演会と3回開催することができ、いずれもたいへん好評でした。

また昨年4月より開設された京都支部メーリングリスト「ゆりかもめ」は徐々に加入者数が増え、会員間相互の発言も定着し、毎月発行の支部報のすき間をうめる情報交換に役だっています。

こういった活動を通じて会員間の交流の発展がはかられました。

(2) 第8回大学図書館員京都研究集会

今年度は、7月3日(土)に立命館大学平和ミュージアムにおいて、第8回大学図書館員京都研究集会(テーマ「大学図書館職員論」)の開催の準備を進めています。具体的には図書館員の専門性に焦点をあてた企画を考えていますが、アウトソーシングなどをめぐる動きもからませて、討議を展開させることになりました。2年前にも同じテーマで研究集会を開催しましたが、今回はより議論を深めたかたちで進めていきたいと思っています。

(3) 支部報

この支部報は、会員のコミュニケーションの場、会員の発表の場の提供、支部活動の報告など極めて重要な役割を担っています。

他支部でも注目されている好評の「大図研京都数珠つなぎ」は169号で37回を重ね、多くの人に執筆の機会を提供するとともに、会員間のコミュニケーション促進に一定の役割をはたしています。

支部総会や研究集会、近畿4支部新春合同例会、全国大会、その他の集会・例会の報告・感想記事、インターネット活用術、書評、支部委員会報告、小説などを掲載しました。

(4) 組織活動

新入会員や他支部からの転入会員により会員数は90名(1998年6月現在)から97名(1999年4月現在)と増加していますが、若手の会員を増やすため、今後も会員獲得に向けて努力する必要があります。

(5) 財政活動

支部活動の根幹をなす財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行い、会費納入率を上げることができました。その結果、長期会費未納会員をほぼ一掃することができました。

2. 1999年度活動方針

(1) 例会活動とメーリングリストなど

今年度は例会の充実をはかるとともに、会員間のコミュニケーションを促進するため、メーリングリスト「ゆりかもめ」のいっそうの充実をはかります。支部報の発行をはじめとした活動の一層の努力をします。また会員間の交流のため、財政補助をするなどの措置をとります。

(2) 研究集会について

会員のニーズに応えた研究集会を実施します。

(3) 支部報について

大図研30周年を記念して、京都支部報復刻版を作成し、できるかぎり早期に発行します。作成・発行費用は特別事業基金から支出します。

毎月の発行についてはすでに定着していますので、これからは会員の多様なニーズに応えるように誌面の充実に向けて努力します。

読みやすい紙面づくりを心がけます。

できるだけ多くの人に執筆していただけるよう努力します。

(4) 会員を増やす活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。

特に若手の会員を増やし組織の若返りをはかることを重視します。

(5) 会費を全員が全額を前納します。

会員としての義務である会費納入を全員が確実に行いましょう。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会においても、原則として毎回担当者から報告と提案を受け、全員で討議するなど集团的取り組みを強めます。

付：活動日誌

1998年

7月17日(金) 第21回支部総会(京大会館)

9月8日(火) 第1回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

9月19日(土) 第1回例会・見学会(立命館大学国際平和ミュージアム
・京都国連寄託図書館・末川記念会館内陪審法廷) 参加者：7名

10月6日(火) 第2回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

11月10日(火) 第3回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

11月28日(土) 第2回例会・見学会(京都精華大学情報館)
忘年会(貴船「べにや」) 参加者：24名

12月9日(水) 第4回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

1999年

1月12日(火) 第5回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

2月9日(火) 第6回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

3月2日(火) 第7回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

3月6日(土) 第3回例会「ユーザーから見た大学図書館のサービス」
講師：堀田牧太郎氏(京大会館)

4月6日(火) 第8回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

5月11日(火) 第9回京都支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

5月17日(月) 研究集会打ち合わせ会(同志社大学クローバーハウス)

6月8日(火) 第10回京都支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

6月29日(火) 第11回京都支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

7月3日(土) 第8回大学図書館員京都研究集会「大学図書館職員論」
(立命館大学平和ミュージアム)

7月 日(火) 第12回支部委員会(同志社大学クローバーハウス)

(以下の議案は当日配布)

**【第2号議案】 1998年度決算報告
1999年度予算及び会計監査報告**

【第3号議案】 1999年度支部役員選挙



第10回大図研京都支部委員会の報告

1999年6月8日(火)同志社大学クローバーハウス(午後7時~9時)

出席:篠原、中嶋、田北、井上、呑海、大館 欠席:竹本

【報告事項】

1. 第4回全国委員会報告

1) 全国大会について

- a 参加申込みの期限を7月16日とする。
- b 課題別分科会の前年度との変更点として
 - ・ 図書館経営分科会はとりやめる。
 - ・ 資料収集と出版流通をひとつにした分科会にする。
- c 支部単位での研究発表を3本予定している。
 - ・ 東京支部は「東京の大学図書館白書」をとりあげる。
 - ・ 愛知支部は酒井信氏のレポート
 - ・ あと1支部は未定
- d 記念講演の候補者について
 - ・ 第1候補者 林望氏
 - ・ 第2候補者 橋爪大三郎氏
 - ・ 第3候補者 松本功氏(ひつじ書房)
 - ・ 第4候補者 国際基督教大学図書館 図書館長

2) 次期役員体制について

- ・ 新委員長の候補者と現在交渉中。

2. 会員情報 現在の支部会員数97名(前回から増減なし)

3. 財政情報 1998年度会費納入者 91名(前回から1名増)

【審議事項】

1. 研究集会「大学図書館員論」について

- ・ 日時 7月3日(土) 10:00~16:30
- ・ 会場 立命館大学国際平和ミュージアム209号(収容50名)
- ・ 時間配分
- ・ コーディネーター役:篠原、司会:大館、録音:田北、看板:田北
- 写真:呑海、受付・会計:中嶋、呑海、宣伝 支部報6月号、yurikamome-ML、dtk-ML
- 関西各支部事務局長に依頼
- ・ 懇親会 集会終了後、会場近くの料理店でおこなう。

2. 支部総会について

- ・ 日程の変更 7月17日(土)→7月24日(土)・時間 17:00より
- ・ 場所 未定(京都市内)
- ・ 会場をビヤホールにして、討議は30分程度にとどめ、そのまま懇親会。
- ・ 議案書の最終案を今週中に確定する。
- ・ 次年度予算では特別事業基金への繰入はしない。
- ・ 次期支部委員体制について
 - 次期支部委員は基本的には現行通りとするが、2000年度までに後任も含めた支部体制の建て直しをはかる。

3. 支部報について

- 1) 6月号について 総会案内/議案書/数珠つなぎ(竹本さん)
- 2) 7月号について 研究集会報告/数珠つなぎ
- 3) 8月号について 支部総会報告(場合によっては9月号)
- 4. 支部報復刻版の発行について 収集状況は変わらず。もう一度探して見て!
- 5. 次回支部委員会 6月29日(火) 19:00(同志社大学クローバーハウス)

大図研京都支部報復刻版発行に必要な下記欠号をお持ちの方がいましたら是非寄贈又は貸出をお願いします。(再録)

巻号	発行日	現物様態	現物要否	巻号	発行日	現物様態	現物要否
4	1979/10/15	なし	要	21	1982/06/25	なし	要
7	1980/?/?	なし	要	32	1984/06/01	なし	要
20	1982/05/01	なし	要	102	1993/07/15	なし	要

新連載小説 第18回



リユウ

西田 治

「和服買うのよ」

「和服？　なんで和服？」

私は頭が混乱した。圭子の云ってることがさっぱりわからなかった。

「あのね！一揃い120万円もする和服が10万円で買えるのよ。こんな事ってないでしょ。」と圭子は早口で云う。何か急いでいるらしい。

「そんなもの買ってどうするんだ？」私はことが飲み込めずに云った。

「とにかく急いでいるのよ！　どうするって。買って着るのよ」

「そんなことわかってる！着ることがあるのか？」

「あれば着るわよ！」

私は圭子が二階の押入を占領して、自分の衣服を入れているのを思い出した。全く着ないものが幾つもある。持っていることさえ忘れていた物もある。和服なんか着るのは正月に二・三日もあれば良い方である。このままだともう一つ箆笥を買ってくれといわれかねない状況なのだ。

「ねえ、持っているの？持っていないの？」と圭子は少しいらいらした口調で言った。圭子に渡すはずの今月の生活費をまだ渡してないのを思い出した。

「持っているけど、何も慌てて買う必要ないじゃない」というと「私もそう思うけどこんな事二度とないチャンスよ」と言う。

私は職場の仲間がみんな買っているのだから圭子も買いたくなったのかと考えた。圭子の会社では、時々業者が来て展示即売会を催していることを聞いたことがある。それで、私は言った。

「みんなが買ってるの？」と聞いた。ところが「私一人よ！」と意外な返事が返ってきた。

「一体、どうなっているんだ？」

「話さないといけないかなあ」と圭子はもどかしそうである。

「当たり前だ」

「あのねえ！帰ろうと思ってバス停の方に歩いていたら、車が寄ってきて、男の人が声をかけてきたの。道でも尋ねるのかと思ったら、和服一揃い120万円するのを10万円でいいから買って欲しいというの。なんでも、明日から高島屋で売り出す商品なんだけど、納品に来ただけで数を間違えてひとつ多く商品を持ってきたらしくて処分したいっていうの。会社に持って帰れないんだって！東京から納品に来てこれから帰るんだけど、その前に処分したいんだって！今直ぐっていうとそんな大金持ってる人いないだろうから10万円でいいって！車も品川ナンバーだし、身分証明書も見せてくれたの！商売の取り引きのことはよくわからないけど嘘じゃないみたいだし……」

「信じがたいなあ！それ怪しいぞ」

「私も初めそう思ったんだけど……」

(次号に続く)

好評の連載コーナー!!

同志社大学図書館 OB 現支部副委員長

たけもとふみお

大図研京都数珠つなぎ 第39回

竹本文夫 さん



一 図書館員の退職後

在職中は、退職したらあれもしよう、これもしたいといろいろ思っていた。なかでも源氏物語の書誌作成は、膨大な文献量ゆえ個人ではとうてい無理とは思いつつ、でも、何とかならないかと未練を持っていた。もちろん大図研には積極的にずっと参加するつもりだった。

ところが、在職中から事務局メンバーとして参加していた「京都御苑への迎賓館建設に反対する連絡会」の活動が次第に忙しくなり、特に最近1～2年は文字通り超多忙となり、大図研のことを考える余裕がなくなってきた。それでも昨年の9月までは月に1回の支部委員会は最優先し、無理に無理を重ねて出席だけはしていたが、それもここ数ヶ月ほとんど欠席せざるを得ない状況に追い込まれている。状況を1週間単位で書いてみよう。

日曜 9時半に起き、大急ぎで顔を洗い、ひげを剃り、朝食をすまして10時過ぎに家を出る。途中烏丸今出川で迎賓館反対連絡会のニュース「オオタカ」3千部を受け取って自転車に積み、京都御苑の休憩所へ。そこで10時半から12時半頃までミーティング。その後弁当を食べ、受け持ち区域の全戸配布を行い、欠席者へその人の持ち分のニュースを届ける。5～6時頃帰宅。夜はテレビを見ながら次の街頭宣伝のコースと弁士を考え、文書を起草。

月曜 日曜発行のニュースを私の受け持ち分15団体に届ける。ついでに必要な打ち合わせも行う。街頭宣伝の宣伝カーと乗用車の手配も行う。街頭で配るチラシの残存枚数をチェックし、必要に応じ増し印刷手配。夜街宣参加者の確認のための電話かけ。

火曜 月曜に連絡が取れなかった人や予定がはっきりしない人に電話をかけ、街宣参加者数を確定する。必要があれば車をもう一台手配する。分単位の街宣車運行表、どこで誰々がスピーチを何分するか、どこで誰が司会をするか、参加予定者名、特に弁士の人は肩書きも、そして次回の運行予定表、これらをB5の用紙1枚の文書に仕上げる。

水曜 しばしば午前中に急用等で参加できないといった連絡が入る。正午に参加者数を最終確定し、文書を打ち出す。12時半、家を出る。同志社の組合書記局で街宣に必要なものをそろえ、打ち出した文書をコピー、参加者に渡す。1時半から3時半約2時間街宣。残務処理をして5～6時頃帰宅。夜その日の記録を打ち込む。

木曜と金曜 この2日間は原則として各種原稿書き。特に金曜はニュース『オオタカ』の原稿締め切りなので、どんな緊急のことがあっても夕方5時までにはニュースを書き終えなくてはならない。したがって実際に書くのは金曜だが、前の土曜からずっと何を書くか、殆どそのことが脳裏を離れない。構想は大体1週間がかりである。

土曜 原則として休養日にしたいと思っているが、なかなかそうはいかず、何やかやといろいろ入ってくるが多い。

これが私の1週間であるが、以上のほかに、会議・打ち合わせ、訴えや御苑ウォッチング説明依頼等がある。それらが一番忙しい火曜や金曜に入ってくると悲劇的だ。というようなわけで火曜の夜の支部委員会がどうしてもご無沙汰ということになる。